

JA福井市・花咲ふくい不

田波初代組合長

JA敦賀美方組合長

JA福井市預貯金高
1847億円



寺井敏高 JA福井市組合長(右)
富田勇一 JA花咲ふくい組合長(左)

を紹介する。

〈県下最大のJA福井市組合員の落胆…〉

戦開城か濃厚?

来年4月「JA福井県」発足
初代組合長選45票の行方!

県内の10JAは7月28日、それぞれ開いた合併総会・総代会で、来年4月1日に一斉合併することを承認した。本店は福井市に設置。現在の福井市、花咲ふくい、テラル越前、たんなん、越前丹生、敦賀美方、若狭の7JA本店を各地区基幹支店、53支店、4出張所の体制となる予定。

JA花咲ふくい預貯金高
1427億円

来年4月1日の「JA福井県」発足を目前にして、組合員に聞こえてくるのはきな臭い話ばかり。農家に寄り添い組合員と共に、総資産2000億、純資産108億、県下最大規模に先人が育てたJA福井市が何故、初代組合長選に立候補せず、主導権を放棄するのか!

〈文責:福井権信〉

JA福井市組合員の悲痛な叫び 有望なりーダーはいないのか!

当誌にJA福井市の組合員から「あらゆる組織の統合は避けられず、JAも早晚に合併の選択を選ばなければなら

ないと思うが、現在のJAの福井県域合併の進捗内情を聞くのがっかりだ」という匿名の文章が送られてきた。全文

票、その半数23票以上を獲得しなければならぬ。

各JAの持ち票数は、	JA福井市	9票	JAはるえ	3票
	JA花咲ふくい	6票	JA福井市南部	1票
	JA若狭	6票	JA永平寺	1票
	JAテラル越前	5票		
	JAたんなん	5票		
	JA敦賀美方	5票		
	JA越前丹生	4票		

今のところ敦賀美方、若狭、テラル越前、たんなんの21票がJA敦賀美方組合長の田波支持濃厚と言われている、福井市、花咲ふくい、越前丹生、はるえ、福井市南部、永平寺の24票の行方が注目される。

JA福井市・花咲ふくい不戦開城か

◆県内11JA決算書拝見！

	JA福井市	JA花咲ふくい	JAテラル越前	JAたんなん	JA若狭
組合長	寺井敏高	富田勇一	林 信一	牧野正男	宮田幸一
組合員数	30,914人	12,570人	9,086人	11,689人	13,298人
出資金	37億	30億	26億	25億	16億
総資産	2001億	1562億	901億	973億	914億
純資産	108億1450万	108億7117万	39億1511万	44億1063万	44億2594万
預貯金高	1847億	1427億	839億	908億	878億
税引前利益	1億6194万	2億1130万	1億1034万	1150万	1億5442万
未処分剰余金	1億8021万	2億4750万	1億5158万	7781万	1億8576万
自己資本比率	15.4%	20.8%	12.5%	12.52%	13.36%
役員数	25人	27人	27人	19人	27人
職員数	481人	380人	293人	163人	327人
人件費	22億2286万	21億5018万	13億4144万	10億5442万	13億1427万
店舗数	31	5	9	13	10

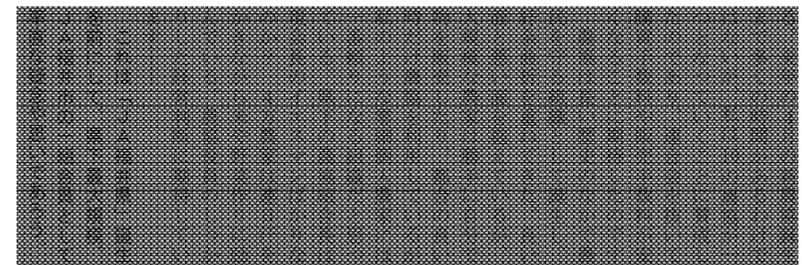
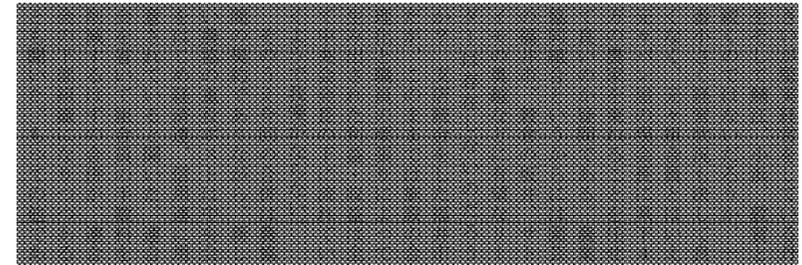
平成30年1月1日から12月31日までの決算書(JAたんなんは平成31年1月JA池田と合併)

県下JAでNo.1の資産と預金高を誇るJA福井市。そのトップを務める寺井敏高氏が、JA福井市の組合長選に立候補しないのか。市内の組合員に尋ねると、「えっへ」と笑いながら「その気全くなし」と返ってきた。昨年の役員改選で3日間をかけた既存路線派と改革派が争い、元警察官で家業の農業を営む既存路線派の寺井氏に軍配があがった。他の役員にもJA福井市を定年後、常務理事や経営管理委員になり、従来通りの組織運営を守ろうとする既存路線派がいて、組織に胡坐をかき農協改革など全く頭がない。また、みくに・芦原・金津町・まるおか・さかいの5JAが広域合併をして設立されたJA花咲ふくい。坂井平野や丘陵地・砂丘地があり、稲

作・園芸作物の生産が県内で最も盛んな農協だ。このトップを務める富田勇一氏も組合長選に名乗りを挙げない。富田氏は県農協中央会勤務後、JA花咲ふくいの参事から同組合長に就任。地元農家に聞くと「もう71歳。70歳定年の制限があるらしいし、チャレンジ精神もなく逃げ腰一方」とあきれ顔。農協組織一筋、組合長にまで登り詰め「無事に引退したい」が本音だろ。組合員の預貯金高がJA福井市1847億円、JA花咲ふくい1427億円に対し、JA敦賀美方は844億円。多くの組合員の信頼に応えることなく寺井、富田氏は合併初代組合長選に名乗りを挙げず、弱小農協の田波氏をトップの座に何故、据えたいのか、

組合長選に手を挙げない寺井・富田氏
これではトップの資格なし！

JA敦賀美方	JA越前丹生	JAはるえ	JA福井市南部	JA永平寺	JA越前たけふ
田波俊明	樋村昌宏	有田正信	西尾宗雄	鈴木喜代宏	富田 隆
9955人	8100人	2740人	2143人	2469人	10764人
11億	10億	5.8億	5.4億	3.8億	2.8億
905億	625億	347億	263億	210億	1358億
49億5167万	42億2220万	19億4682万	16億1375万	11億1038万	67億2982万
844億	570億	318億	242億	195億	1274億
1億1703万	6909万	2884万	1079万	△9606万	7516万
1億4581万	1億1966万	4340万	3640万	383万	6億9461万
16.88%	19.51%	18.03%	17.67%	16.96%	14.39%
28人	21人	20人	21人	24人	20人
148人	162人	97人	66人	71人	197人
8億5517万	7億5997万	4億1007万	2億924万	2750万	10億7560万
8	14	3	3	3	15



その真意は…。我が力量不足を自覚していて農協、組合員の将来を考えての事か。県内きつてのJAとして実績を誇る福井市、花咲ふくいが、合併初代組合長選に立候補もしない組合長を選出した役員の実力は重い。

JA福井市、JA花咲ふくいで職員は多額の使い込みが発覚したが、農協の収益を上げるため日常化したノルマの締め付けが一因でもある。



これまでJAを支えてきた組合員や職員の努力を思えば、寺井氏、富田氏は「落選を恐れず」合併初代組合長に立候補すべきである。「我関せず」のトップでは、組合員と職員の士気は低下する一方だ。

2か月余に迫った合併初代組合長選にJA福井市、JA花咲ふくいの両トップが立候補しないのなら即座に辞任し、リーダーシップのあるトップの選出が望まれる。内部役員や管理職及び組合員の中に有能な人材も豊富であろう。

嶺北地域と嶺南地域の風土や農業に対する意識の相違は鮮明だ。現在5連会長職にあるが、馬力と破壊力だけのJA敦賀美方組合長、田波俊明氏に新農協のトップの座を易々と奪われる嶺北8農協のトップに無念さはないのか。

何れにせよ合併初代組合長選はJA福井市、JA花咲ふくいが主導権を握らないと大農家組合員の脱退が加速して建設費9億円のJA敦賀美方本店新築現場

いくとの声もあり、多くの職員を抱える農協の組織運営が岐路に立ちかねない。

9億円の建設費を投じたJA敦賀美方本店。大金を掛けたにせよデザイン性に乏しく「箱」である。さらに近年、公共工事は地元業者が優先的に工事を受注する時世に、地元業者でもなく組合員でもない東洋建設に発注とは…。

福井信用金庫の預金高は7891億円。職員数650人で16億円の当期純利益を計上。また越前信用金庫はJA福井市、JA花咲ふくい同様、1611億円の預金高で職員数1200人が、4億1090万の当期純利益を計上する。ゼロ金利政策が農協経営を圧迫する中で「一本化」の選択しかないと言うが、旧態依然とした運営や組織を大型化しただけの「JA福井県」では農協の、組合員の未来はない。そのトップに立つ組合長は相応の覚悟と改革が求められる。



JA福井市本店と寺井組合長